

## はじめに

本書は、鹿沼市における環境の保全等に関する施策の実施状況を明らかにするために、第3次環境基本計画に定めた計画の進捗状況をまとめたものです。市民の皆様の環境に対する関心をさらに高め、市民協働による環境保全の取り組みが推進されるための一助となれば幸いです。

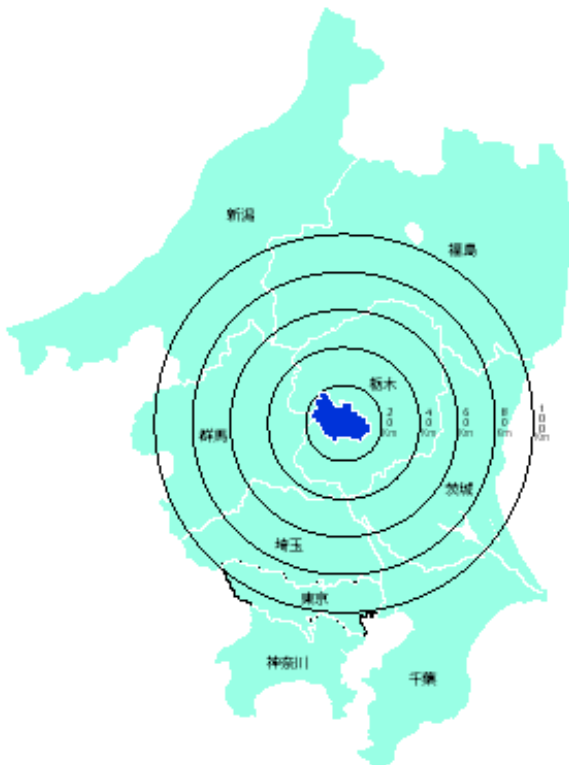
# 第1章 鹿沼市の概況

## 1 地勢

本市は、首都東京から100km圏にあり、北は国際観光都市・日光市、東は県都・宇都宮市に隣接しています。道路では、東北縦貫自動車道鹿沼インターチェンジを有し、鉄路では、東武日光線とJR日光線が通っています。

市域の約7割は森林で覆われており、西北部の山々を源として、大芦川、荒井川、栗野川、思川、永野川が、日光市からは黒川が南流し、山と高原や清流と溪谷のある美しい景観を成しています。

市街地は、黒川の河岸低地と東部高台及び思川と栗野川が合流する平地に形成されています。



鹿沼市位置図

### 位置・面積

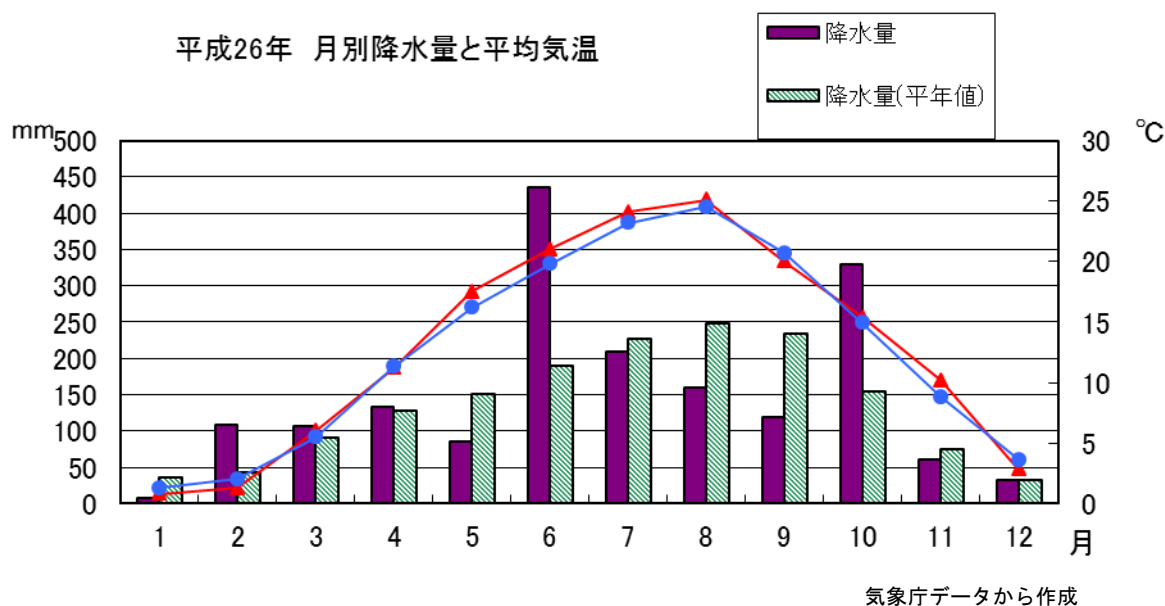
東	経：
	139度28分02秒
	— 139度50分08秒
北	緯：
	36度27分29秒
	— 36度42分43秒
海	抜：
	148.8 m <sup>2</sup> （市役所）
面	積：
	490.64 k m <sup>2</sup>

## 2 気象

本市の気候は、内陸のため寒暖の差がやや大きく、冬季の平地部の低温と夏季の雷の発生が特徴的です。

### 気象（平成26年中）

降水量：1,789.0mm（日最大：141.5mm）  
 気温：13.0℃（最高36.4℃ 最低-9.5℃）  
 風速：1.6m/s（瞬間最大25.3m/s）  
 日照時間：2,154.1h



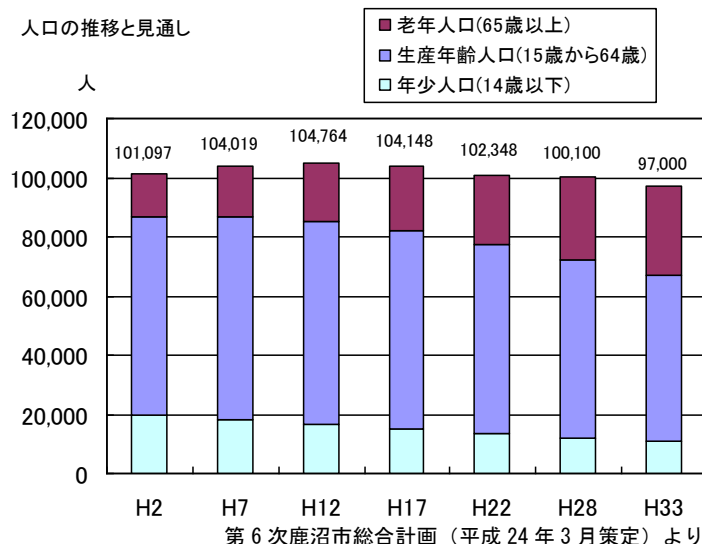
## 3 人口

本市の人口は、平成13年3月をピークに減少傾向が続いています。年齢構成では、年少人口の減少が著しく、一方で高齢人口の割合が高まり、この傾向が続くことが予想されます。

### 人口と世帯数（平成27年4月1日現在）

人口：99,009人  
 世帯数：35,985世帯

人口の推移と見通し



## 第2章 環境行政の概況

### 1 鹿沼市環境基本条例

本市では、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で安全かつ文化的な生活の確保に寄与することを目的として、平成12年12月に鹿沼市環境基本条例を制定しました。

本条例では、環境の保全についての基本理念や、市、市民、事業者のそれぞれの責務を明らかにするとともに、施策の基本方針を定めています。また、この条例のなかで、市が環境基本計画を定め公表することや、環境の状況及び環境の保全等に関する施策の実施状況について年次報告書を作成し公表することを規定しています。

### 2 鹿沼市環境基本計画

環境基本計画は、環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために策定しています。本市最初の環境基本計画は、平成12年3月に策定しましたが、平成18年1月に粟野町との合併があり、第5次鹿沼市総合計画のスタートにあわせ、平成19年度からは第2次環境基本計画を推進してきました。現在は、平成24年度から平成28年度を計画期間とした第3次鹿沼市環境基本計画をもとに、施策を進行しています。

H 12.	3	鹿沼市環境基本計画	策定
H 12.	12	鹿沼市環境基本条例	制定
H 16.	1	環境都市宣言	告示
H 19.	4	第2次鹿沼市環境基本計画	策定
H 24.	3	第3次鹿沼市環境基本計画	策定

### 3 第3次鹿沼市環境基本計画の概要

#### (1) 計画の目標年次

平成 33(2021)年度を長期的に展望し、平成 28(2016)年度を目標年次としています。

#### (2) 基本理念

環境基本条例に定めた4つの基本理念の実現を目指しています。

##### 1. 次世代への継承

市民の環境問題に対する意識の高揚を図り、健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる恵み豊かな環境を確保しながら、これを将来の世代に継承します。

##### 2. 自然との共生

恵み豊かな自然環境と潤いや安らぎのある社会環境を確保し、これらと市民が共生できる生活環境を形成します。

##### 3. 持続的な発展

環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な循環型社会を構築します。

##### 4. 地球環境の保全

地球環境の保全を自らの課題として認識し、市民生活や経済活動等のあらゆる活動において環境負荷の低減を積極的に推進します。

#### (3) 基本的な方針

次の5つの基本的な方針にそって、環境施策を進めていきます。

1. 環境問題の意識を高めること
2. 自然との共生を目指すこと
3. 美しい水と緑の自然を継承すること
4. 環境への負荷を減らすこと
5. 循環型社会への転換を目指すこと

#### (4) 環境に関する市民の意識(アンケート結果)

平成 22 年度に市民 2,000 人(回答者数 817 人)にアンケートを実施し、市民の環境問題に関する意識や要望などを確認しました。

気になる環境問題については、

「不法投棄・ポイ捨て」(58.0%)「地球環境」(55.1%)が 50 パーセントを超えており、続いて「ごみ問題」(45.5%)「野生動物による農作物への被害」(39.7%)「川の水の汚れ」(37.3%)「空気の汚れ」(34.1%)の順に高い値を示しました。身近な環境問題に限らず、地球温暖化などの地球環境にも関心が高いことがうかがえました。

鹿沼市の環境についての満足度では、

「緑の豊かさ」(61.8%)、「水の豊かさ」(49.0%)、「空気のきれいさ」(48.8%)の項目で「たいへん満足」、「おおむね満足」とした回答が多い結果となり、自然環境に関する満足度が高い傾向がみられました。一方、「環境に関する学習の機会や情報の提供」(10.3%)で満足度が低い結果となりました。

鹿沼市に今後優先して取り組んでほしい項目では、

「自然環境・生態系の保全」(34.0%)、「適切な土地利用の確保(農地や山林など)」(27.8%)、「上下水道の整備」(25.9%)、「ごみの減量やリサイクルの推進」(25.5%)などが高く、自然環境や生活環境への取り組みについて望んでいることがうかがえました。「クリーンエネルギーの推進」(17.4%)についても比較的高い結果となりました。

これら市民の意見を参考に、積極的に課題に取り組み、鹿沼市全体の環境についての満足度が向上するよう環境施策を進めます。

平成 26 年度きれいなまちづくり標語 最優秀賞作品

小学校の部

「だれにでも、めばえてほしい エコ心。」

中学校の部

「つづけよう 拾う・捨てない その心」